

2022年1月5日

日越国際線の運航再開とワクチンパスポート

① ベトナム・日本（東京）間の国際線運航再開

コロナとの共存および経済活動の再開計画の一環として、ファム・ビン・ミン副首相は2022年1月1日から国際線運航を試験的に再開することに同意しました。日本（東京）をはじめ、安全性の高い国・地域との間で国際定期便の運航が順次再開されています。



国際商用便の再開計画についての会議



日越双方向で国際定期旅客便の再開

日越の直行便について、ベトナム航空とベトジェットエアの国内航空会社2社および日本の航空会社2社が運航を許可されています。飛行頻度とルートは次のとおりです。

- ベトナム航空：ハノイ市・ホーチミン市～東京間で週3往復
- ベトジェットエア：ハノイ市・ホーチミン市～東京間で週1往復
- 日本航空および全日本空輸：東京～ハノイ市・ホーチミン市間で両社合計で週4往復以内

搭乗する際に、乗客は次のものを提示する必要があります。

- 新型コロナウイルス陰性証明書
- 新型コロナワクチン接種証明書（ワクチンパスポート）または治癒証明書

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

- 2回接種済みでなく、治癒証明を所持していない乗客に関しては、自宅隔離用の施設・設備の確保証明書、または隔離施設として認定済みのホテル予約証明書（最低7日間）

② 新型コロナワクチン接種証明書（ワクチンパスポート）

ベトナム保健省はワクチン接種証明書（ワクチンパスポート）の様式および発行プロセスを正式に発表し、2021年12月20日に発効しました。



ワクチンパスポート

ワクチンパスポートの発行プロセス

ベトナム外務省は、78カ国（地域）とワクチンパスポートの相互承認の手続きを加速しています。昨年12月現在、米国、日本、英国、オーストラリア、ベラルーシが、ベトナムのワクチンパスポートを承認済みです（インド、カナダも原則的に合意）。その他、ASEAN諸国、欧州連合、中国、韓国などは承認の最終段階に入っています。ベトナム当局は、国際基準に沿ったワクチンパスポートの発行に必要なソフトウェアソリューションの開発も完了しています。

【写真提供：CPVN】

<http://www.capital-am.co.jp>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

以上